



プロフィール
 Author：東員第一中学校
 511-0242
 三重県員弁郡東員町
 六把野新田557番地
 Tel 0594-76-2303
 Fax 0594-76-9711
 E-mail toin1-jimu@mie-toin.ed.jp

カテゴリー
 学校長：島田真也
 職員数：43人
 児童数：439人
 学級数：14学級



学級目標実現に向けた4部の連携図

第6次 3つの柱(読み解く力・伝える力の育成、関わり合い学び合う力の育成、16年一貫教育プランの実践と共有)の推進

『自主・自立・自律～自ら未来を語れる生徒を育てる～』

研修部：「わからないから始まる」授業の想像

6つの視点を大事にして授業研究を行っていく

- ① 外部講師による授業研究及び模擬授業
- ② 前・後期 授業作り研修
- ③ 学級(学年)経営研修
- ④ 学力分析

生指部：誰もが安心して過ごせる空間の創造

- ① 年間生活指導重点項目に基づいた生活指導の実施
- ② 交通安全指導の徹底
- ③ 一中版 ネットルール宣言の発信
- ④ 情報共有システムに基づく「報・連・相」の徹底
- ⑤ Q Uアンケートの有効活用

生活部：個の力のアップでより良い集団作りへ

- ① 自分の思いを人前で語れる生徒の育成
 - ・生活部主体の職員研修(学級経営研修)
- ② リーダー・フォロワーの育成
 - ・朝の会・帰りの会での取り組み
 - ・HRシュミレーションの実施
 - ・班長会や教科係会による取り組み
- ③ 生徒会活動の充実
 - ・生徒会執行部
 - ・委員会
 - ・代議員会
 - ・委員会 による行事の企画・運営

学習部：①楽しく、豊かな人間性を持って、未来を生き抜く力の育成
 ②D層10%以下につながるテスト分析・授業改善・帯学習

- ① 人権教育の推進
 - ・系統性のある人権学習
 - ・子どもの権利学習会
 - ・人権フォーラムの取り組み
 - ・いじめを許さず、人権を大切にする心構を育て、その実践力の向上を目指す人権教育
- ② 未来に希望を抱けるキャリア教育の推進
 - ・進路学習
 - ・家庭学習(マイスタ・新研究)
 - ・帯学習(朝読書・コグトレの実施)
 - ・テスト勉強(テスト計画表作成)
- ③ 考え・議論する道徳の探究
 - ・35時間22項目の確実な実施
 - ・考え・議論する道徳の研究
 - ・全員道徳(分担制による指導案の作成)
- ① D層追跡分析
- ② 定期テスト分析(評定配分表作成)
- ③ 全国学調・IRT分析
- ④ デジタル採点・成績処理(学習のあゆみを含む)
- ⑤ ギガスクール構想の推進
- ⑥ 健やかに育つための体力の向上
- ⑦ 多様な生活文化を理解し協働するための外国語教育の推進
- ⑧ ダイバーシティ社会実現のための特別支援教育の推進
- ⑨ 土曜授業の有効活用

「わからない」から始まる授業の創造

～教科の本質に迫りながら、他者との関わりでしか得られない学びを目指して～

授業研究において6つの視点を大事にします

①安心して過ごせる学校空間の構築

□以下の掲示物を生徒達に示し、**授業規律**を確立していくことで、授業が誰にとっても安心して受けられるものにしていきます。

東員第一中学校 学びの作法

「わからない」は「自分から」気遣いして、「知らない」は「わからない」から教えて、「それ、どうやるの？」、「これどういう意味？」は「わからない」から、もう一回教えて！

「わからない」は「自分から」気遣いして、「知らない」は「わからない」から教えて、「それ、どうやるの？」、「これどういう意味？」は「わからない」から、もう一回教えて！

「わからない」は「自分から」気遣いして、「知らない」は「わからない」から教えて、「それ、どうやるの？」、「これどういう意味？」は「わからない」から、もう一回教えて！

東員第一中学校 授業規律9項目

①手や足がなる3分間に授業の準備をして着席する。	②授業の始めと終わりのあいさつをきちんとして、きちんと待つ。	③正しい姿勢で座る。(足を組んだりせず、背筋を伸ばして座る！)
④はっきりと返事をし、みんなに聞こえる声で話す。	⑤話す人を見ながら話を聞き、話を聞かなくてはいけないことをしない。	⑥無駄話や早退びなど、授業に関係のないことをしない。
⑦授業に必要なものは机の上に乗らない。	⑧授業中に勝手に机の隅から離れない。	⑨自分の活動は周りをハッピーにしているか常に考える。

②生徒が思わず考えたくなる、他者の考えが必要となる課題の提示

□授業の初めに必ず本時の「めあて」(到達したい姿)を示し、授業内で基礎学力の定着を図る「共通の課題」、学んだことの応用・発展を図る「ジャンプの課題」を生徒に提示します。

③小集団を基本とした協同的な学び

□他者との関わりでしか得られない学びを実現するために、教科の目的やねらいに即して、**意図のある小集団**を活用した**協同的な学び**を行っていきます。(最初はA層⇒D層、理想はD層⇒A層)

④生徒が思考したり、考えを書いたりするまとめの時間の確保

□授業の中では不必要な内容を削ぎ落とし、先生は喋りすぎない。教師は生徒の「わからない」を出発点として、つなぎ役となって、見取る。また、時間配分を「生徒：教師=8：2」を理想とします。また、授業での学びが整理されるように、まとめの時間を確保する。

3つの姿を目指します

- ①「わからない」と言える授業、安心できる空間を作る教師
- ②生徒の「わからない」をつなぎ、適切に見取ることができる教師
- ③「わからない」と身を乗り出して質問する生徒

⑤高い専門的知識と教材作成能力、説明力を備えた教師

□生徒が「分かった!」と納得できるような説明力、生徒の探究心をくすぐる教材の作成、子ども達の疑問に即座に答えられる深い専門的知識を備えた教師を目指します。

⑥読解力の育成

リーディングスキル表

この表は、読者の読解力を高めるためのスキルを分類し、育成方法を示しています。

□上図のリーディングスキル表を元に**教科別部会**で育成すべきスキル、育成方法を確認して取り組んでいきます。

4つの手立てで授業研究を進めていきます

①外部講師による授業研究及び模擬授業

□岐阜聖徳学園大学 玉置教授に年間3回、来ていただき、授業研究(今年度は英語)を行う。研究授業について以下の2つの視点で見ると。

- ①設定された課題に対する子どもの姿
- ②教師の生徒をつなぐ姿や見取りの姿

□研究授業前には全職員で模擬授業を実施し、研究授業のねらいなどについて共通理解を図る。(授業者のニーズに合ったものを行う。)

②前・後期 授業作り研修

□全職員が目標やテーマを持って1年間に2回、2週間程度の期間で公開授業を行う。また、期間中は以下の手立てを講じる。

- ①参観シートを使って授業を参観し、参観後に授業者に渡す。
- ②星取表を使って、参観状況を可視化する。
- ③授業作り研修の始めと終わりに教科別部会で取り組みの方向性や振り返りを交流する。

③学級(学年)経営研修

□「学級(学年)経営」については1年間に3回、現在の学級(学年)状況を振り返り、課題に対する改善策を明確にしていく研修会を行う。(ただし、定期的にプチ学級経営研修を行う予定。)

●研修実施時期
→4月、夏休み、冬休みの年3回

④学力分析

□定期テストの結果を4層分析する。また、小学校6年生のIRTの結果でD層に属していた生徒を追跡調査して、その生徒の学力の変容を見ていく。⇒D層10%未満を全教科において目指す。(分析については授業デザイン部が担当する。)

参観シート

授業の観察記録表

星取表

参観状況の可視化表

4月1日現在
注:新型コロナウイルス感染防止措置により、今後大幅な変更が考えられます。

4月: 入学式
生徒会オリエンテーション
学調・IRT・スタディック
授業参観
評議員会

5月: スポーツテスト
部活動参観
修学旅行〔3年〕
技能体験〔2年〕
弁当の日〔1年〕
中間テストQU調査①

6月: 都市体育大会
小中連絡会
実力テスト①
生徒会授業づくり

7月: 期末テスト
部活壮行会
桑員体育大会

8月: 夏休み研修会
補充学習会

9月: 実力テスト②
体育祭QU調査②

10月: 桑員新人体育大会
実力テスト③
授業参観中間テスト
親子ボランティア
評議員会

11月: 3年文化行事
人権フォーラム
校内人権学習期間
期末テスト
保育実習〔2年〕

12月: 三者懇談会
1月: 実力テスト④
QU調査③
入学説明会

2月: 実力テスト⑤
3年三者懇談会
合唱祭三送会
期末テスト
公立前期選抜試験

3月: 評議員・評価委員会
卒業式
公立後期選抜試験